## 2020年度 国内光ケーブル需要見通し

2020年10月2日調査統計専門委員会

調査統計専門委員会では、本年3月に策定した2020年度の国内光ケーブル需要見通しの改訂を取りまとめた。なお、2020年3月策定の当初見通しは、新型コロナ緊急事態宣言前に策定したもので参考値である。

## 1. 2020 年度改訂見通し 概要

昨年に引き続き、公衆通信部門は、大手通信事業者の 5G 関連需要はあるものの、新型コロナウイルスによる工事延期等の影響で設備投資増が見込まれないことから、当初比据置とし、2019 年度実績に対しては-5.6%と予測した。

一方、公共関連部門は、東京五輪関連需要がピークアウトし、新型コロナウイルスの影響により設備投資を抑える動きもあり、2020 年度当初見通しからさらに減少し、昨年度比一8.3%と予測した。また、一般民需部門は、CATV 関連の需要は一段落するとみて、当初予測比減、2019 年度実績比一7.2%と予測した。この結果、国内光ケーブル合計は当初比減の 6,010 千 kmc とし、2019 年度対比ではー6.3%となった。

## 2. 前提条件と主な参考指標

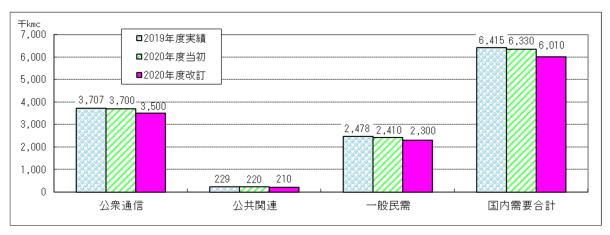
- (1)マクロ経済指標
  - メタル(銅及びアルミ)電線と同。
- (2) NTT「2020 年度第1四半期決算、業績予想について」2020年8月
- (3) 総務省「ケーブルテレビの現状」2020 年8月 情報流通行政局地域放送推進室資料
- (4)総務省「ブロードバンド整備等に係る取組について」2020年7月

## 3. 需要見通し結果

2020年度見通し改訂

部門	コメント
公衆通信	5G関連需要は継続すると見られるものの、新型コロナによる工事延期等の影響で、当初 比減、2019年度比減。
公共関連	東京五輪関連需要がピークアウトし、新型コロナの影響により設備投資を抑える動きもあり、当初比減、2019年度比減。
一般民需	CATV関連需要は一段落すると見て、当初比減、2019年度比減。
国内需要合計	公衆通信、公共関連、一般民需部門ともに当初比減と見込まれ、合計でも当初比減、 2019年度比減。

図 1. 2020 年度改訂見通し



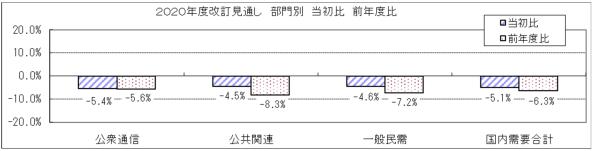


表 1. 2020 年度需要見通し

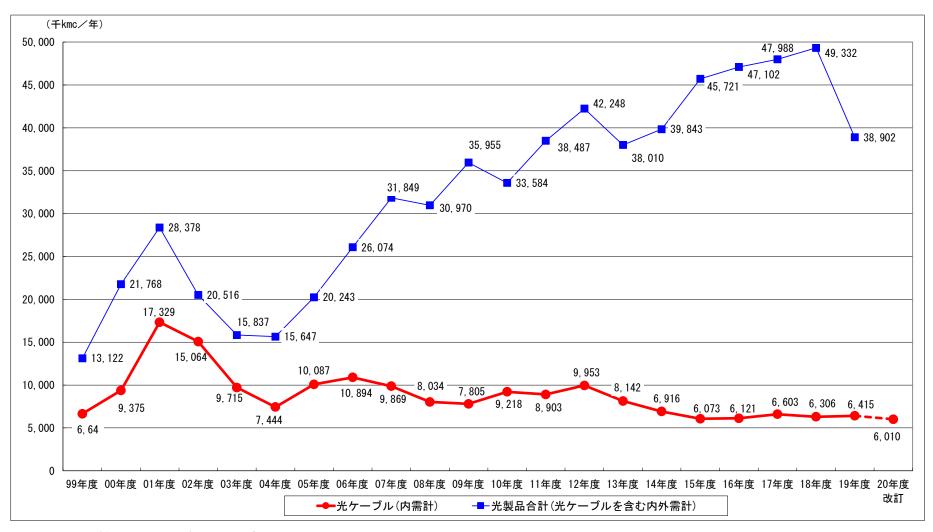
単位: 千kmc

	—————————————————————————————————————									
	2019年度実績	2020年度当初	2020年度改訂	当初比	前年度比					
公衆通信	3,707	3,700	3,500	-5.4%	-5.6%					
公共関連	229	220	210	-4.5%	-8.3%					
一般民需	2,478	2,410	2,300	-4.6%	-7.2%					
国内需要合計	6,415	6,330	6,010	-5.1%	-6.3%					

単位:千kmc/年度

年度 部門	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	19/18 伸び率	2020年度 当初見通し	2020年度 改訂見通し	当初比	20改訂/19 伸び率
公衆通信	7, 571	7, 751	6, 515	5, 208	4, 346	3, 728	3, 418	3, 369	3, 707	10. 0%	3, 700	3, 500	▲ 5.4%	▲ 5.6%
公共関連	214	186	230	145	138	167	295	219	229	4.6%	220	210	<b>▲</b> 4.5%	▲ 8.3%
一般民需	1, 118	2, 015	1, 397	1, 563	1, 589	2, 226	2, 890	2, 718	2, 478	▲ 8.8%	2, 410	2, 300	<b>▲</b> 4.6%	<b>▲</b> 7.2%
合計	8, 903	9, 953	8, 142	6, 916	6, 073	6, 121	6, 603	6, 306	6, 415	1. 7%	6, 330	6, 010	▲ 5.1%	▲ 6.3%

注) 四捨五入のため計が合わない場合がある。



注1: 光製品合計の20年度改訂は作成していない。 2: 2020年3月に策定した当初見通しは、新型コロナ緊急事態宣言前に策定したもので参考値である。